

PRESS RELEASE

工学院大学
工学院大学附属中学校・高等学校

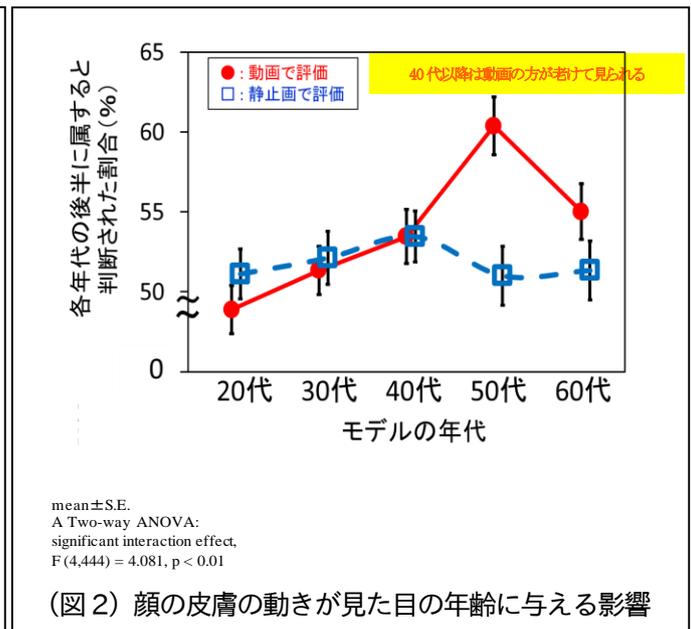
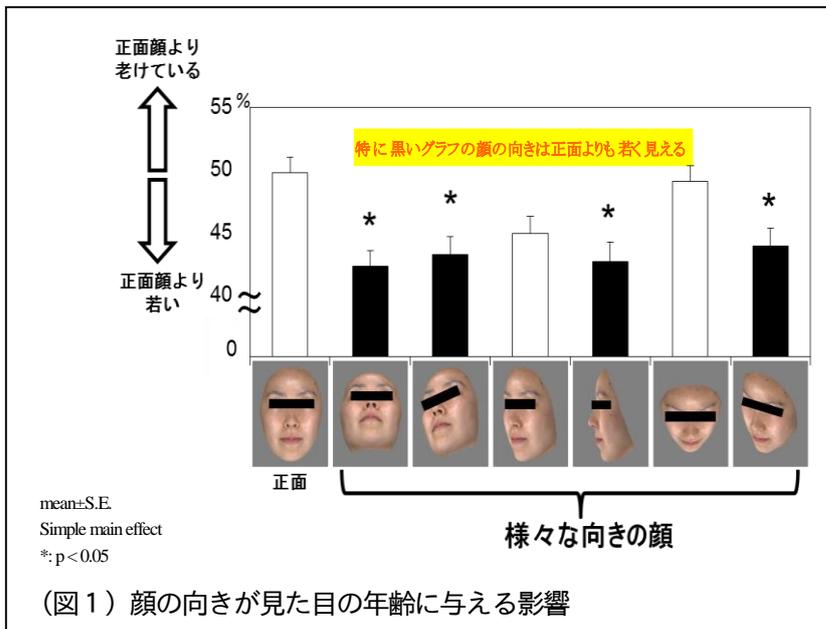


2016年4月、情報学部2学科新設
システム数理学科・情報通信工学科

学校法人 工学院大学
総合企画部広報課

〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
TEL:03-3340-1498 / FAX:03-3340-1648
e-mail:gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp

別紙資料



(調査結果)

実験から、以下の結果を得ることができた

- 1) 正面から見るよりも若く見える顔の向きがある (図1)
- 2) 表情を作る際に皮膚が動くことで、40代を境に老けた印象を与えてしまう (図2)

また、見た目の年齢を判断する際、観察者は被験者の顔のどこを注視しているかを調査したところ、

- 3) 見た目の年齢を判断する際には、目の他に、個人を特定するときには重要でないと言われた頬にも視線が向けられる (図3)



結論：見た目の年齢は顔の向きや皮膚の動きに影響され、視線は頬にも集中する

<取材等に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課 担当：関根・佐野
TEL:03-3340-1498 / e-mail:gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp